## 学校給食の無償化とオーガニック化について

田辺　純子　議員

**質問** 学校給食費の未払いの状況を伺います。

**答弁** 令和元年度84人、同2年度60人、同3年度51人、同4年度61人、同5年度が24人で極端に少ないのは、1月から3月までの無償化が影響したものと推測しています。

**質問** 無償化が何よりの支援になると思うが、困っている家庭をどのように支援するのか伺います。

**答弁** 学校生活で必要な費用の一部を援助する就学支援制度による給食費の実費分の援助や、申出による児童手当からの天引き、滞納が続く世帯に対し、納入相談を行っています。

**質問** 児童福祉法の規定で児童は18歳までとし、医療費無償化も18歳までです。第3子の規定で年長の子を18歳とする考えを伺います。

**答弁** 物価高騰の状況も踏まえ、段階的に中学生の無料化を拡充していきたいと考えています。

**質問** 重点支援地方交付金を活用した学校給食費の無償化の考えを伺います。

**答弁** 事業化を検討はしていますが、現在は準備をしているところで、学校給食の支援についても、内部で検討する中で候補に挙げていきたいと考えています。

**質問** オーガニック給食について一般質問し、2年経過したが、考えを伺います。

**答弁** 学校給食センターで使用する食材の調達量の確保が難しく、現状、導入は非常に困難と考えています。

**質問** 今後の取組について伺います。

**答弁** オーガニック食材を取り巻く環境は大きく変化していないので、引き続き今後の状況を確認していきたいと考えています。

**質問** 全国的には状況は変化しています。みどりの食料システム戦略等で国も奨励している方向で、今後も一般質問で取り上げたいと思います。次に、学校給食費の補助が一番低いが、周辺自治体との格差について市長の考えを伺います。

**答弁** 前向きに幅広く議論を進め、財政状況を踏まえながら段階的に検討していきたいと考えています。

## まちなかの賑わい再生について

篠木　正明　議員

**質問** ウォーカブルなまちづくりを具現化する計画として、都市再生整備計画（館林駅東地区）がありますが、どのような事業を実施するのですか。

**答弁** 計画に位置付けられた公共施設の整備事業は、太陽の園改修事業と南こども園整備事業です。来年度には市民と協働で、まちなかの将来ビジョンの策定や社会実験などを実施します。

**質問** 太陽の園、計画では、イベントなど多様な都市活動に利用するための広場として、「（仮称）大辻広場」の改修が入っています。しかし、イベントに利用するには狭すぎると思いますがどう考えていますか。

**答弁** 十分な広さはないという認識はあります。大辻広場だけでなく、周辺の市民センターや二業見番組合事務所なども活用し、回遊性を持たせたイベントも考えながら、歩いて楽しめるまちづくりにつなげていきたいと考えています。

**質問** 社会実験を行うと言われましたが、これまでも館林駅東口広場でキッチンカーによる社会実験や館林駅前通りパークレット社会実験を行いました。この結果はどうだったのですか。

**答弁** 駅前広場のキッチンカーは盛況でした。その後の実施を検討し、駅前広場の道交法による制限や許可条件について、警察と協議しましたが、道路利用者の強い要望で不許可となりました。パークレットの利用者アンケートでは、賛否が分かれました。

**質問** 今、中央通り線の整備が行われていますが、歩道が4m、休憩施設帯が2・5mあります。そこをイベントに使えないと無駄に広い歩道になってしまいます。警察と協議し、イベントができるようにすべきだと思いますが、いかがですか。

**答弁** 道路空間も有効に活用するという国の方針もあり、歩道が広ければ、イベントやオープンカフェなどの使い方が条件付きでできるようになりました。その点も踏まえ、他の自治体の事例も参考にしながら取り組んでいきたいと思います。